

CentOS Linux から Google Cloud 上の Red Hat への移行



Red Hat Enterprise Linux のビジネス価値

CentOS Linux のような無料版 OS と比較すると、Red Hat Enterprise Linux では、チームがどこで作業していてもより多くのことをより短時間で行うことができます。²

- ▶ **32%** 向上: IT インフラストラクチャ・チームの効率
- ▶ **42%** 高速化: セキュリティリスクの特定
- ▶ **23%** 迅速化: 新しいアプリケーションの開発ライフサイクル
- ▶ **72%** 短縮: 予定外のダウンタイム
- ▶ **24%** 削減: 3年間の運用コスト
- ▶ **1,731万ドル** 増加: 1組織あたり年間平均の純収入

ビジネス上の取り組みをサポートするオペレーティングシステムとクラウドプロバイダーを選ぶ

あらゆる業界の組織が、コストの最適化、効率化、迅速なイノベーションを実現するためにクラウドに移行しています。実際、企業はワークロードの 50% をクラウドで実行し、データの 48% をクラウドでホストしており、また、より多くのワークロードをクラウドに移行することが、44% の組織にとって最重要課題となっています。¹

しかしながら、クラウドへの移行は IT の複雑性を増しかねません。クラウド戦略では、潜在的なセキュリティリスク、運用の非効率性、予算の超過を回避しながら、クラウド投資から最大限の効果を得るための慎重な計画が必要です。

データセンターとクラウド環境間で一貫性のあるオペレーティングシステムを使用して標準化することで、複雑さを克服し、クラウドへの移行を単純化することができます。柔軟性とイノベーションを提供するオープンソースの開発モデルである [Linux](#)® は、クラウド環境に最適な選択肢です。ただし、すべての Linux ディストリビューションが同じというわけではなく、ディストリビューションの選択がクラウドやデータセンター環境の効率、パフォーマンス、セキュリティ、コストに大きな影響を与える可能性があります。

無料で利用可能でコミュニティがサポートする Linux ディストリビューションである CentOS Linux を使用している組織は、現在、選択を迫られています。CentOS Project は、2021 年 12 月に CentOS Linux 8 のリリースとアップデートの提供を終了しましたが、2024 年 6 月には CentOS Linux 7 のすべてのアップデートとリリースを終了する予定です。そのため、CentOS Linux ユーザーがアップデート、パッチ、新機能を引き続き受け取るためには、新しいオペレーティングシステムに移行する必要があります。新しいオペレーティングシステムの実装は面倒に思えるかもしれませんが、これを機に、組織は自社のニーズを再評価し、現在および将来にわたってクラウド戦略をより適切にサポートするプラットフォームを選択することができます。

[Red Hat® Enterprise Linux](#) は、先進的な IT とエンタープライズ・ハイブリッドクラウドのデプロイメントのための一貫したインテリジェントな運用基盤です。[Google Cloud](#) 上で Red Hat Enterprise Linux を実行することで、お客様の組織に最適なメリットがもたらされます。CentOS Linux は Red Hat が公開したソースから派生したもので、同じスキル、技術、要素の多くを引き続き使用でき、また、クラウドで成功するために必要な機能、ツール、サポート、価値を獲得できます。

プロダクショングレードのマルチクラウド基盤で標準化

一貫性は、クラウド移行を成功させるために重要な要素です。データセンターとクラウド環境にまたがる運用基盤を単一の基盤で標準化することで、クラウドへの道筋を大幅に単純化できます。運用と管理を複数のドメインに分割せずに、単一セットのツールとプラットフォームを使用して、データセンターとクラウドの間でアプリケーションとワークロードをデプロイ、実行、移動できます。

1 Flexera, 「[Flexera 2023 State of the Cloud Report](#)」、2023 年 3 月。

2 IDC ホワイトペーパー (Red Hat 後援) 「[無料版と比較したレッドハットソリューションのビジネス価値](#)」 Document #US50423523、2023 年 3 月。

Red Hat Enterprise Linux を Google Cloud 上で実行するとデータセンターとクラウド・インフラストラクチャが統合されるため、運用を効率化し、柔軟性を高め、クラウドへの投資を最大限に活用できます。クラウド対応でセキュリティに特化したオペレーティングシステムは、フットプリント全体で一貫したカスタマイズされた体験を提供し、また、高性能で革新的なクラウド・インフラストラクチャは、グローバルなキャパシティ、インテリジェントなセキュリティ、高度な機械学習 (ML) 機能を提供します。Red Hat Enterprise Linux は、Google Cloud 上で使用するために検証および認定済みです。Red Hat と Google は共同で、両者のコラボレーションによるソリューションがハイブリッド環境およびマルチクラウド環境上で卓越したエクスペリエンスを提供するよう取り組んでいます。

CentOS Linux は、Red Hat が一般公開しているソースから派生したものですが、同じオペレーティングシステムではなく、同じエンタープライズ向けの機能、ツール、サポートを提供するものではありません。Google Cloud 上の Red Hat® Enterprise Linux に移行すると、Red Hat のソフトウェア、自動化、管理テクノロジーのポートフォリオとの使用が認定済みの、エンタープライズ対応の Linux イノベーションに直接アクセスできます。製品間の統合、パートナー製品の大規模なエコシステムでの認定、アーキテクチャとバージョンの選択により、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境の相互運用性が向上します。徹底的なテストと強化が行われ、制御された信頼できるソフトウェア・サプライチェーンを持つ Red Hat Enterprise Linux により、信頼性を損なうことなくイノベーションを促進できます。また、Red Hat と Google Cloud は主要なハードウェアおよびソフトウェアベンダーと提携し、より多くの選択肢、イノベーション、安定性を提供しています。実際、すでに使用しているサードパーティ製品やツールを Google Cloud 上の Red Hat Enterprise Linux で引き続き使用できる可能性は低くありません。



Red Hat Developer を通じてツールやリソースにアクセス

[Red Hat Developer プログラム](#) は、問題を解決し、仲間とつながり、最新情報について知り、プロジェクトを前進させるためのツール、テクノロジー、ビルダーのコミュニティを提供します。

[Red Hat Developer サブスクリプション \(チーム用\)](#) は、すでに Red Hat 製品を使用している組織が無料で利用でき、Red Hat Developer の eブック、チャートシート、その他の有用なコンテンツへのアクセスが含まれています。

場所を問わず開発者をサポート

本番環境とは異なる環境でアプリケーションを開発およびテストすると、本番で問題が発生することがあります。また、開発者が生産性を最大限に高めるために必要なツール、リソース、サポートを受けられないこともあるでしょう。Google Cloud 上の Red Hat Enterprise Linux のような共通の基盤を開発やテスト、本番環境に採用することで、新しいアプリケーションの立ち上げまでの時間を効率化し、立ち上げ時の非互換性や問題発生リスクを低減できます。Red Hat Enterprise Linux は Google Cloud 上の信頼できるオペレーティングシステム・イメージに容易にアクセスできるほか、開発から本番までのパスを効率化するために必要なツールチェーン、ライブラリ、コンテナツール、ランタイムを提供します。アップデートは[アプリケーション・ストリーム](#)を通じて配信されるので、開発者と IT アーキテクトは最新のツール、ランタイム言語、データベースを試すことができ、前のバージョンにアクセスしてプロダクション・アプリケーションをメンテナンスすることもできます。

また、Red Hat は開発者に特化したリソース、プログラム、サブスクリプションを提供しており、組織は Red Hat Enterprise Linux での開発をより簡単に、コスト効率よく行うことができます。[Red Hat Developer プログラム](#)、[Red Hat Developer サブスクリプション \(個人用\)](#)、[Red Hat Developer サブスクリプション \(チーム用\)](#) は、データセンターと Google Cloud 環境の両方で使用できます。

クラウドでエキスパートのサポートにアクセス

80% の企業がクラウドの課題としてリソースや専門知識の不足を挙げています。¹ CentOS プロジェクトは、CentOS Linux ユーザーに対して商用サポートを提供していないため、プラットフォームのサポートに関する問題をすべて社内で処理し、運用に多くの時間とスタッフを要していることがあります。

Red Hat Enterprise Linux の購入方法に関係なく、Google Cloud のサポートチームと連携した Red Hat の[受賞歴のあるサポート部門](#)によるサポートが受けられます。Red Hat Enterprise Linux は、Red Hat がサポートする唯一の Linux ディストリビューションです。Red Hat は、お客様が Red Hat と Google Cloud のソリューションによって目標を達成できるよう、Google Cloud と連携して専門知識、ナレッジ、共同サポートを提供します。Red Hat Enterprise Linux を Red Hat から直接入手するか、Google Cloud から入手するかに関係なく、同じ高価値の体験を得ることができます。

Red Hat のエンタープライズグレードのサポートリソースとツールは、ビジネスを継続する上で役立ちます。技術的な専門知識、ガイダンス、ナレッジを毎日 24 時間利用できます。Red Hat は、ビジネス成果の達成を迅速化するのに役立つ、個別のガイダンスやプランニングサービスも提供します。その結果、

サポートに関する問題の解決にかかる時間が短縮され、組織のスタッフはより戦略的なタスクの方に集中することができます。実際、Red Hat Enterprise Linux を使用する組織では、無料の Linux ディストリビューションを使用する組織と比較して、予定外のダウンタイムが 72% 少なくなっています。²

統合されたツールでクラウド全体の管理を最適化する

調査対象組織の 52% がクラウド管理戦略の一環として単一のオペレーティングシステムを使用しています。³ CentOS Linux には高度な管理ツールや修復ツールが含まれていないため、これらのシステムを手動または他の社内管理ツールを用いて管理するのが一般的です。Red Hat Enterprise Linux と Google Cloud で標準化すると、運用と管理が効率化されます。[Red Hat Insights](#)、[Red Hat Satellite](#)、[Red Hat Ansible® Automation Platform](#) などの同じ管理ツール一式を使用して、すべての環境の管理と自動化を行えるため、時間と労力を節約できます。

Red Hat Enterprise Linux には、プラットフォームとアプリケーションを継続的に分析して、ハイブリッドクラウド環境の適正な管理と最適化を支援する独自のホストサービススイートである Red Hat Insights へのアクセスが含まれています。Red Hat Insights は、予測分析と詳細なドメイン知識を使用して、複雑な運用タスクの時間を数時間から数分へと短縮します。運用、セキュリティ、ビジネス成果を中心として、障害またはセキュリティイベントが生じる前に、管理者や関係者に警告を發します。

また、Red Hat Insights は、オンサイト環境と Google Cloud などのクラウド環境で機能するため、単一のインターフェースからすべてを管理し最適化できます。また、付属のイメージビルダーサービスを利用することで、データセンターおよび Google Cloud 環境全体で、より迅速かつ容易に Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステム・イメージを作成、管理、デプロイすることができます。カスタマイズした Red Hat Enterprise Linux イメージをビルドしてテンプレートとして保存し、Google Cloud インベントリにプッシュすることができます。そして、運用をさらに単純化するために、Red Hat アカウントを Google Cloud のアカウントにリンクし、クラウドベースのシステムとワークロードをプロビジョニング時に Red Hat Insights や他の Red Hat サービスに自動的に接続させることもできます。

クラウド環境におけるセキュリティとコンプライアンスの維持

78% の企業にとって、セキュリティは依然としてクラウドの最重要課題となっています。¹クラウドにおけるセキュリティとコンプライアンスを効果的に維持するには、一貫性が欠かせません。CentOS Linux には高度なセキュリティ管理ツールが含まれておらず、政府や公的機関によるセキュリティ認定も受けていません。

Google Cloud 上の Red Hat Enterprise Linux は、データやアプリケーションを脅威や不正行為から防御するために役立つセキュアバイデザイン・インフラストラクチャとインテリジェントなセキュリティ機能を備えた、コンプライアンス重視の基盤を提供します。[ライブカーネルパッチ](#)、セキュリティプロファイル、[セキュリティ基準認定](#)、[信頼できるソフトウェア・サプライチェーン](#)などの組み込み型のセキュリティ運用機能が、現在のセキュリティとコンプライアンスに対する高い期待に対処するための助けとなります。Google Cloud 上の Red Hat Enterprise Linux のすべての新しいバージョン向けのセキュリティプロファイルは徹底的にテストされているので、ハイブリッド環境およびマルチクラウド環境で予期したとおりに実行されます。自動化されたツール、定期的なアップデートとパッチのリリース、専門知識の提供によって、組織の環境を保護します。Red Hat Insights Compliance サービスは、組織の環境全体でコンプライアンス要件を順守しているかどうかを追跡できるよう支援し、修復ガイダンスを提供します。

Google Cloud は、デプロイ可能なブループリントやランディングゾーン、クラウドセキュリティを強化するためのガイダンス、推奨される構成やアーキテクチャなど、セキュリティのベストプラクティスを公開しています。Google Cloud はゼロトラストモデルを使用し、シングルサインオン、アクセス制御ポリシー、アクセスプロキシ、ユーザーベースおよびデバイスベースの認証および認可を提供して、規制および



Red Hat Insights で時間と労力を節約

Red Hat Insights は、一般的な管理タスクに費やす時間を短縮するのに役立ちます。⁴

- ▶ **91%** 短縮: セキュリティの脆弱性の検出にかかる時間
- ▶ **96%** 短縮: 既知の運用上のリスクの検出にかかる時間
- ▶ **89%** 短縮: 構成ドリフトの検出にかかる時間



セキュリティの認定

厳しいセキュリティ基準に対する認証により、業界や状況を問わず、セキュリティを損なうことなく Red Hat Enterprise Linux と Google Cloud を使用することができます。

³ Red Hat, 「[2021年版 Linux 市場調査](#)」、2023年1月。

⁴ Principled Technologies (Red Hat 後援)、「[Red Hat Insights をアクティベートして監視を自動化し、管理者の時間と労力を節約する](#)」、2020年9月。



移行を効率化する

[Convert2RHEL ツール](#) は、CentOS Linux システムを直接 Red Hat Enterprise Linux システムに簡単かつ迅速に変換できるため、遅れることなくより少ないコストと手間でスタートすることができます。



スキルパスを構築する

[Red Hat ラーニングサブスクリプション](#) では、トレーニングコンテンツ、ラボ、動画に無制限にアクセスできるため、チームはスキルギャップを埋め、Red Hat 製品を最大限に活用することができます。

ポリシーに関する目的の達成を支援します。Google Cloud ではデータセンター間で転送中および保管中のデータの暗号化も行い、認可されたロールとサービスのみがアクセスできるようにします。

クラウド費用をよりの確に制御する

82% の企業にとって、クラウド費用の管理はクラウドの最重要課題です。¹ Red Hat と Google Cloud は、お客様の予算や要件に合わせた複数の購入オプションを提供しています。

- ▶ Red Hat からサブスクリプションを購入し、オンサイトまたは [Red Hat Cloud Access](#) 経由で Google Cloud 上で使用する
- ▶ [Google Cloud Marketplace](#) から Red Hat Enterprise Linux のインスタンスを入手する
- ▶ [Google Cloud 確約利用割引 \(CUD\)](#) を Google Cloud 上の Red Hat Enterprise Linux インスタンスに使用する
- ▶ Red Hat Hybrid Committed Spend プログラムを利用して、オンサイトおよび Google Cloud 上で割引価格と柔軟な支払いオプションを利用する

これらのオプションについて、詳しくは [概要をご覧ください](#)。

将来のためのプラットフォームに移行する

Red Hat では、Red Hat Enterprise Linux への移行を容易にするプロセスやプログラムをご用意しています。Red Hat の [Convert2RHEL ツール](#) を使用すると、CentOS Linux システムを簡単かつ迅速に Red Hat Enterprise Linux システムに直接変換できます。Convert2RHEL は、既存のオペレーティングシステムのカスタマイズ、構成、設定をコンバージョン中も維持することで、コストのかかる再デプロイメントプロジェクトの必要性を最小限に抑え、管理者の負担を軽減します。また、[Red Hat コンサルティング](#) を利用することで移行を加速できます。

自信をもって前進する

CentOS Linux の廃止は、クラウドの取り組みをより適切にサポートするオペレーティングシステムへの移行の機会になります。Red Hat Enterprise Linux は、ハイブリッドおよびマルチクラウド環境向けにインテリジェントなプロダクショングレードの運用基盤を提供します。

red.ht/centos で前進するためのソリューションを選択しましょう。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のある](#) サポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#) であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
linkedin.com/company/red-hat

jp.redhat.com
339171_0523_KVM

アジア太平洋 +65 6490 4200 apac@redhat.com	インドネシア 001 803 440 224	マレーシア 1800 812 678	中国 800 810 2100
オーストラリア 1800 733 428	日本 03 4590 7472	ニュージーランド 0800 450 503	香港 800 901 222
インド +91 22 3987 8888	韓国 080 708 0880	シンガポール 800 448 1430	台湾 0800 666 052